

ESG 投融資における取組みについて ～脱炭素先行地域事業に対する株式会社オーリスへの事業性融資～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、株式会社オーリス（代表取締役 高橋 浩人）に対して、同社が取り組むもみ殻バイオマス熱供給事業にかかる融資を行いましたので、お知らせいたします。

株式会社オーリスが実施するもみ殻バイオマス熱供給事業は、大潟村の基幹産業である稲作において、これまで多くが未利用の資源であったもみ殻を活用して熱供給を行うものです。地域の脱炭素化をはかるとともに、燃焼後のもみ殻を燐炭（くんたん）として再利用するなど、地域資源の地域内循環に貢献する事業となります。

本件は、環境省により採択された脱炭素先行地域^{（注）}（第 1 回）の事業のうち、東北地方で初の脱炭素先行地域事業向け融資になります。当行は、株式会社オーリスに対し、事業構築支援や外部専門家の活用を通じた事業リスク分析面での支援をはじめ、各種プロジェクト関連契約・長期資金計画の策定支援等、多岐にわたる支援を行っております。

当行では、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」において、環境課題への対応を重要課題のひとつとして掲げ、環境価値「Green Values」の創出を推進しております。引き続き事業活動を通じて地域の脱炭素化に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

（注）脱炭素先行地域

2050 年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費にともなう CO2 排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域。大潟村は、2022 年 4 月に脱炭素先行地域（第 1 回）に採択され、官民共同出資により 2022 年 7 月に株式会社オーリスを設立しました。

記

ESG 投融資への取組み

当行は、環境課題や社会課題の解決ならびに持続可能な社会の実現に資する ESG 投融資を積極的に行っております。

＜これまでの取組み＞

- 2021 年 8 月～環境負荷低減に資する船舶投資ファンドへの出資
- 2021 年 1 2 月～カーボンニュートラルファンド 1 号投資事業有限責任組合への出資
- 2022 年 3 月～MSD 第二号投資事業有限責任組合への出資
- 2022 年 7 月～脱炭素先行地域事業に関する株式会社オーリスへの出資
- 2022 年 1 0 月～株式会社脱炭素化支援機構（J I C N）への設立に向けた出資
- 2023 年 6 月～本融資

（以 上）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。

(別 紙)

大潟村 脱炭素先行地域事業 もみ殻バイオマス熱供給事業の概要

1 事業概要

(1) 事業目的

- 村内施設の化石燃料低減による村および村民の便益向上
- 持続性のある稲作農山村地域の確立

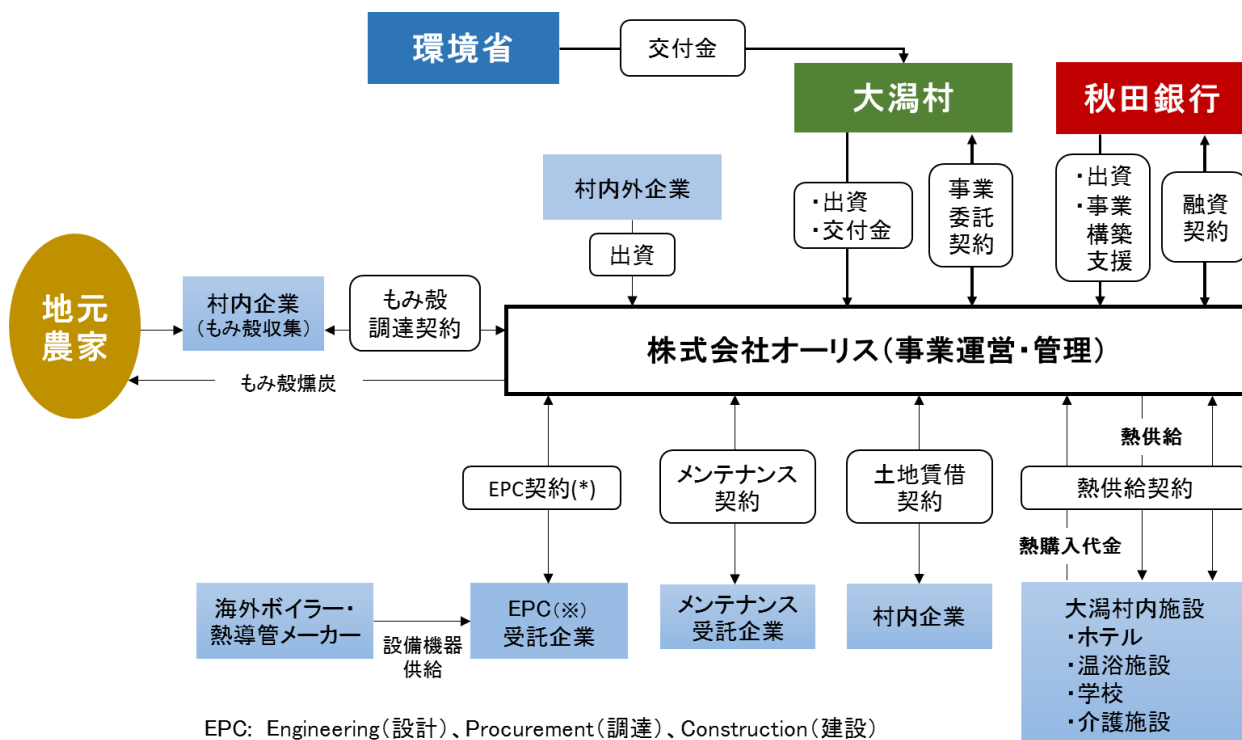
(2) 実施内容

- もみ殻バイオマスボイラー（デンマーク製）の導入
 - ・ 発生量の多くが未利用資源となっていたもみ殻の燃料としての利用
 - ・ 化石燃料低減とそれに伴う域外流出コストの削減ならびに CO₂削減
 - ・ もみ殻燐炭（くんたん）の農業への活用、農地への炭素固定
- 地域熱供給システムの導入（熱導管の敷設等）
 - ・ 欧州の技術を採用した次世代公共インフラとしての国内先進モデル構築

(3) 事業効果

- CO₂排出量の削減：約 1,700t-CO₂/年
- もみ殻消費量（燃料）：約 2,200t/年

2 事業イメージ図



(以 上)